



2019年12月4日

ニュースリリース

ジェットスターグループ
タイガーエア台湾
Dohop社

ジェットスターグループとタイガーエア台湾 インターライン契約を締結

ジェットスターグループ(本社:メルボルン、CEO:ギャレス・エバンズ、以下「ジェットスター」と)とタイガーエア台湾(本社:台北、会長:張鴻鐘)は、本日、両社にとっては初となる LCC 間のインターライン契約の締結を発表しました。

本パートナーシップでは、フライト検索エンジンを提供する Dohop 社(本社:レイキャビク、CEO:デイビッド・ガンナーソン)の技術により、ジェットスターとタイガーエア台湾双方にとって主要なアジア太平洋市場における路線網が拡充し、お客様により多くの就航地やフライト、乗り継ぎの新たな選択肢を提供できるようになります。ご利用のお客様によりシームレスな乗り継ぎサービスをアジア太平洋地域で提供できるようになりました。

Dohop の予約システムを利用することで、お客様はそれぞれの会社のホームページ上で、ジェットスターとタイガーエア台湾の搭乗便と付帯サービスを組み合わせて航空券の予約・購入が可能となります。このほか国際線の乗り継ぎをされるお客様は、預け入れ手荷物を最終目的地までスルーでチェックインすることができるようになります。

Dohop の予約エンジンが統合されたことにより、搭乗便と付帯サービスを組み合わせた航空券の予約・購入が可能となりました。国際線で乗り継ぎされるお客様は、預け入れ手荷物を最終目的地までシームレスにお届けします。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の片岡優は、次のように述べています。「LCC 間のパートナーシップが Dohop を通じて可能となったことで、航空業界に新たな可能性が拓けました。本パートナーシップによって、当社とタイガーエア台湾の路線が合わさりネットワークが拡大し、より多くの路線や便、そして充実した乗り継ぎサービスをジェットスターのお客様に提供できるようになり、大きな期待をしています。これは『日本の空、世界の空を、もっと身近に。』というジェットスターのビジョンを実現するものです」

「ジェットスターでは、これにともないウェブサイト上に新たなプラットフォーム『ジェットスター・コネクト』を開設しました。このページからタイガーエア台湾の便を予約・購入できるため、お客様はより多くの就航地から路線を選択することが可能になります。今後、『ジェットスター・コネクト』をさらに拡充し、他の LCC ともパートナーシップを築いていけるよう努めてまいります」

タイガーエア台湾会長の張鴻鐘はジェットスターおよび Dohop 社との新たなパートナーシップ締結は大変喜ばしいこととし、次のように述べています。

「ジェットスターとタイガーエア台湾間の乗り継ぎを集約させた Dohop 社の検索システムにより、当社のお客様に一層拡充したネットワークやフライトを提供することが可能になります。台



湾のお客様は、Dohop 社のシステムを通じてジェットスターとタイガーエア台湾のフライトを一括予約してゴールドコーストまで旅行できるようになりました。また、日本のお客様は、ジェットスター・ジャパンの国内線ネットワークから乗り継いで台湾まで渡航可能となります。本パートナーシップにより、当社が就航していないゴールドコーストやメルボルン、ブノンペンなどへのアクセスをお客様に提供することが可能となりました。これは個人旅行をするお客様が増えている傾向に対応したものです。」

Dohop 社のアジア太平洋地域ディレクターのフィリップ・ディエトリン氏は、ジェットスターとタイガーエア台湾の新たなパートナーシップに、Dohop 社の革新的なインターライン・テクノロジーを選択したことは大変嬉しいとし、次のように述べています。

「このように明確なビジョンを持った航空会社との協業でアジア太平洋地域に向けたインターライン・ソリューションを立ち上げ、より快適な乗り継ぎサービスとより多くの選択肢をお客様に提供できることを嬉しく思います。今後もパートナーシップ強化のためにジェットスターおよびタイガーエア台湾と協業し、アジア太平洋全域で新たなパートナーシップを目指していく所存です。」

ジェットスターグループについて

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最も急成長している航空会社ブランドの一つで、同地域で最大級の路線網を展開しています。ジェットスターグループは、オーストラリアおよびニュージーランドのジェットスター航空(カンタスグループの子会社)、シンガポールのジェットスター・アジア航空、ベトナムのジェットスター・パシフィック航空、日本のジェットスター・ジャパンから構成されています。ジェットスターグループは、アジア太平洋地域の 87 都市以上に就航し週 5,000 便以上を運航しています。FY2019(2019 年 6 月期)には、ジェットスターグループ全体で 3,800 万人以上のお客様にご利用いただきました。

タイガーエア台湾について

タイガーエア台湾は、台湾桃園国際空港を本拠地とする、チャイナエアライン・グループの完全小会社です。台湾で最初に設立された唯一の LCC です。タイガーエア台湾は、2014 年 9 月に民間航空管理局から航空事業認可証を取得、同年 9 月 26 日に運航を開始しました。現時点で、11 機のアエアバス A320 を台湾の台北、台中、高雄からマカオ、北東アジア、東南アジアの 23 の就航先、30 の路線で運航しており、900 万人以上のお客様にご利用いただいています。タイガーエア台湾は、アジア太平洋地域において最も新しい機体を保有している航空会社の一つで、平均機齢は 4.5 年です。

Dohop 社について

Dohop 社は、アイスランドに設立されたテクノロジー・プロバイダーで、航空・旅行分野における革新的なソリューションの開発において 15 年以上の実績と受賞歴を誇ります。旅程の作成と集約を主力テクノロジーとし、航空会社およびアライアンスのシンプルかつ効率的なインターライン契約を通じたネットワーク拡大と増益を支援しています。Dohop 社は、イーージージェット、トランサヴィア航空、ユーロウイングス、ボロテア、ロンドン・ガトウィック空港、スカイチーム・アライアンスなど、世界中の航空会社、アライアンス、空港へサービスを提供しています。